

発行 長野医療生活協同組合

〒380-0814 長野市西鶴賀町1570 TEL(026)234-1476 FAX(026)234-1493

E-mail: chiiki@healthcoop-nagano.or.jp

ホームページ: http://www.healthcoop-nagano.or.jp

●現勢(2017年2月16日現在)生協組合員…6万4301人 出資金…15億7856円

みんなの医療

事業所

長野中央病院
南長池診療所
稲里生協クリニック
老人保健施設ふるさと
徳間デイサービスたんぼぼ
三本柳デイサービスミント
戸倉デイサービスゆいっこ
グループホーム栗田ゆうゆう

長野中央介護センターつるが
在宅総合ステーションながの
(ケアマネジャー・訪問介護)
訪問看護ステーションながの
つるがリハビリセンター
ショートステイつるが
高齢者住宅つるがの風

3・11を忘れず 息の長い支援を

東日本大震災 支援委員会 発足



宮城県山元町でのボランティア活動

震災直後から、震災発生直後から医療、物資、募金活動を行い被災地を支援しました。現地でのボランティア活動では、家の中や庭にたまった泥出し、草刈などに汗を流し、仮設住宅での健康チェックも行いました。

震災直後から 広がった支援の輪

2011年3月11日、東日本大震災が発生しました。太平洋沿岸を大津波が襲い、直後に東電福島第一原発の事故が起きました。今年で丸6年、被災者の困難をよそに原発事故を風化させようという動きも目につきます。長野医療生活協では、改めて支援委員会をたちあげ、息の長い運動をつくりまします。



戸隠リフレッシュ企画

もとの生活には もどれない

被災地は今、瓦礫が撤去され新しい家が建つなど、きれいな街になりつつあります。けれど、福島では至る所に行き場のない汚染土をつめた大量のフレコンパックが積み上げられ、劣化した袋から土が漏れて草が生えている状態です。



福島現状を語る宝鏡寺住職(楡葉町)

支援が打ち切られます。対象世帯の人たちは避難先の公営住宅や仮設住宅からの退去を迫られています。2年前に避難解除された楡葉町では9%の人が帰還しましたが、人気がなく物騒なので夜はほとんどの人が仮設住宅に帰るそうです。若い人はすでに町の外で仕事もち、子どもも育っています。生計が立たない上、放射能や地震への不安もあります。もとはもどれないのが実情です。



積み上げられた汚染土



浜通り医療生協の伊東さんの講演会

「原発事故は解決した」とばかりの政府や東電の対応は、事故の責任をあいまいにし、再稼働や新設へ突き進む恐れを感じます。私たちは、総合的に息の長い支援をしようとして昨年と支援委員会を立ち上げました。今月は3回目の福島連帯リフレッシュ企画を計画しています。被災地から30人の家族を招待するため、財政活動や募金活動に取り組んでいます。4月以降、被災地への視察、東北の物品販売などの企画があります。たくさんのおみなさんの参加、ご協力をお願いします。(東日本大震災支援委員会 委員長・市村はる美)

待合室

小学校1年生と3年生の娘が「パパ! トランプしよう」と、しきりにねだります。二ユーズや学校で、「トランプ」というキーワードを頻りに耳にするようになったことが原因のようです。パパ抜き、神経衰弱、7並べ、そしてスピード、というふうには、トランプにはいろいろな遊びがあり、つき合わされていきます▼ところで、アメリカの大統領のトランプといえば、オバマケア撤廃、TPP離脱、移民取り締まり強化、そして入国審査厳格化などを主張し、さまざまな大統領令を出しています▼トランプ大統領の出すインパクトの強い大統領令は、これからまだまだ出てくると予想されます。普通なら到底実現できないことも、強引に実行してしまう怖さを感じるのには私だけではないようです▼私は子どものトランプに付き合っているとは思いません。はたして、日本はトランプ大統領とどう付き合っていくつもりなのでしょう。(中)